

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年5月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額は前年を下回り、ホームセンター・家電量販店販売額も前年を下回った。(2月)
乗用車新車新規登録台数は前年を下回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回った。(3月)

産業面・・・おおむね横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を上回り、原指数も前年を上回った。(2月)

雇用面・・・有効求人倍率は厳しい状況となっている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(2月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回り、新規求人数も前年を下回った。(3月)

需要面の動き

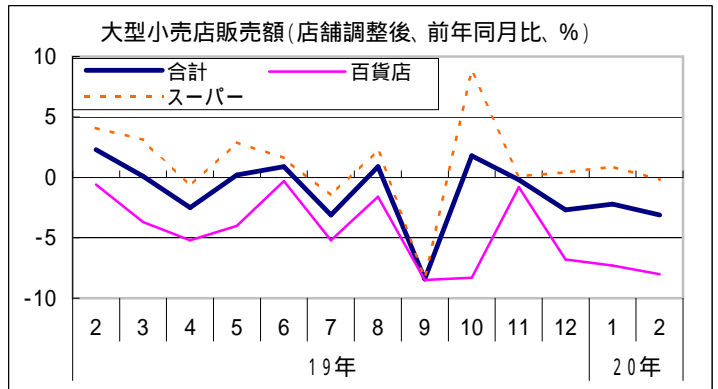
大型小売店販売額(2月)

全店舗の販売額は、48億1,545万円(前年同月比3.1%減)と4か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも4か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

| | 販売額(万円) | 前年同月比 |
|------|---------|-------------|
| 合計 | 481,545 | 3.1 (3.1) |
| 百貨店 | 170,382 | 8.0 (8.0) |
| スーパー | 311,163 | 0.2 (0.2) |

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(2月)

26億5,667万円(前年同月比2.3%減)と2か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(3月)

3,437台(前年同月比11.8%減)と6か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比18.4%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(3月)

271戸(前年同月比6.3%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、持家の増加(前年同月比12.3%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(3月)

14億9,750万円(前年同月比252.8%増)と2か月続いて前年を上回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比458.3%増)等が前年を上回った。

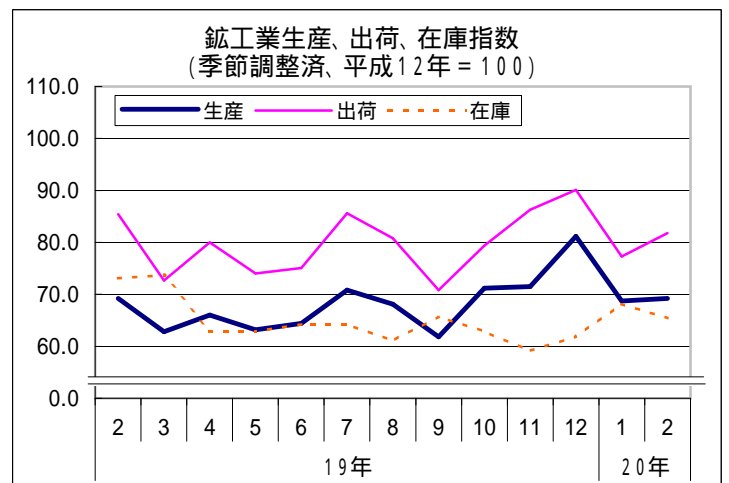
公共工事請負金額(3月)

96億4,300万円(前年同月比20.4%増)と9か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、市町村の増(前年同月比112.6%増)が大きな割合を占めた。

産業面の動き

鉱工業指数(2月)

生産指数(季節調整済)は69.2(前月比0.7%上昇)と2か月ぶりに上昇し、原指数は67.6(前年同月比4.2%上昇)と3か月続いて上昇した。
内訳を前月比でみると、電気機械が通信機械器具等の生産増により3.5%上昇、食料品・たばこが5.7%上昇、一般機械が12.6%低下、繊維が4.5%低下した。
在庫指数(季節調整済)は65.4と前月比4.1%低下した。



大口需要電力実績(2月)

136,433千kwh(前年同月比6.6%増)と6か月続いて前年を上回り、鉱工業は機械等が増加し5.9%増加した。

青果物卸売量(3月、鳥取市場)

野菜が1,450t(前年同月比0.3%減)と2か月ぶりに前年を下回り、果実は805t(前年同月比5.4%増)と5か月続いて前年を上回った。

漁獲量(3月、境港)

14,742t(前年同月比20.1%増)と2か月続いて前年を上回った。

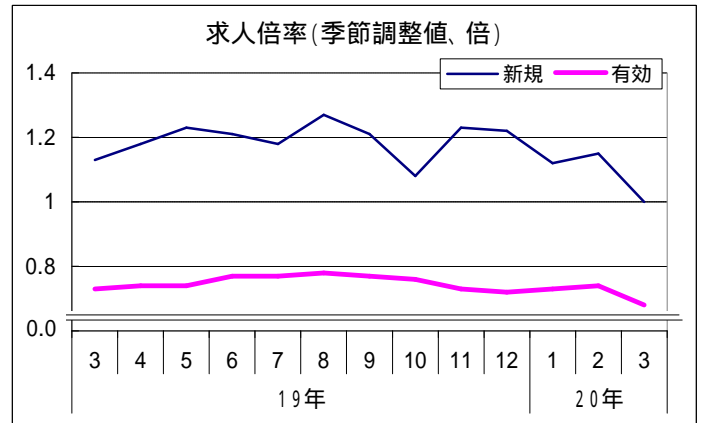
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(3月)

1.00倍(前月差0.15ポイント低下、前年同月差0.13ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,074人(前年同月比1.3%減)と6か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(3月)

0.68倍(前月差0.06ポイント低下、前年同月差0.05ポイント低下)と23か月続いて0.8倍を割っている。



現金給与総額(2月)

253,723円(前年同月比1.0%増)と2か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,354円(前年同月比0.6%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(2月)

9.8時間(前年同月比6.6%増)と3か月ぶりに前年を上回った。主力の製造業は1.5%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比136.5%増)等で前年を上回り、卸売・小売業(前年同月比31.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(2月末)

預金残高は、1兆8,660億円(前年同月比1.7%増)と18か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,426億円(前年同月比1.9%減)と18か月続いて前年を下回った。

参考

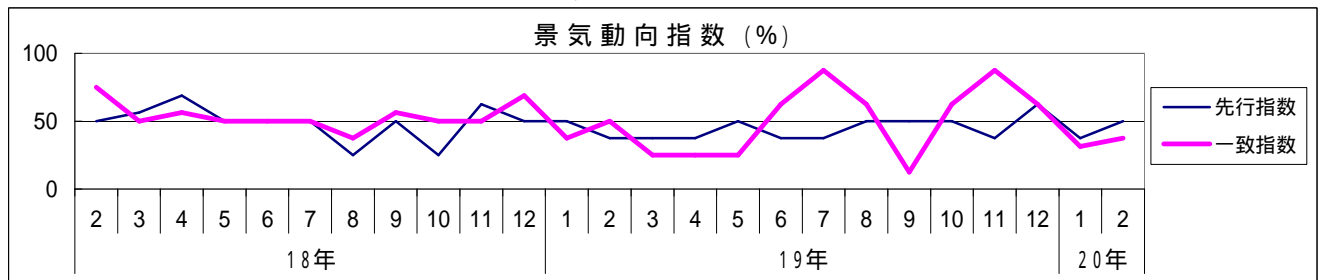
鳥取県景気動向指数(2月)

先行指数50.0%、一致指数37.5%、遅行指数80.0%となった。

先行指数は50%となった。

一致指数は2か月続いて50%を下回った。

遅行指数は5か月続いて50%を上回った。



企業倒産(3月)

件数は2件(前年同月比50.0%減)で3か月ぶりに前年を下回り、負債総額は12億1,300万円(前年同月比46.1%増)で6か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(3月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.1となり、前月比(0.2%上昇)は3か月ぶりに上昇し、前年同月比(1.4%上昇)は5か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(4月1日現在)

595,844人で、前月と比べて2,586人(0.43%)減少し、前年同月と比べて4,365人(0.73%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年2月調査)

平成20年4～6月期は、平成20年1～3月期に比べると景気、経常利益は不調となり、売上高はやや不調となる見通しとなっている。